

単年度用

R3決算用

事業番号	4 - 75 - 10 - 1		成果説明書・掲載事業						
事業シート（概要説明書）									
科目	款	2	総務費	項	1	総務管理費			
目					6	交通安全対策費			
事業名	交通安全施設対策事業				担当課	建設課			
総合戦略施策名	基本目標					担当係	管理補修係		
	基本的な施策の方向				施策番号		作成責任者	吉田晃洋	
事務区分	自治事務	<input type="radio"/>	法定受託事務	<input type="checkbox"/>			事業開始年度	昭和46年度	
根拠法令等	道路交通法 附則第16条～								
実施の背景	交通の安全を図るため、交通安全施設の設置及び維持補修を行う。								
目的	交通危険箇所の改善、歩行者・車両双方にとって安全で円滑な交通の推進。								
事業概要	対象	市民				対象者数(全住民に対する割合)			
						41,248 人 (100.0 %)			
	実施方法	直接実施	<input type="radio"/>	業務委託	<input type="radio"/>	一部委託	<input type="checkbox"/>	指定管理	<input type="checkbox"/>
		委託先・指定管理者							
		直接補助	<input type="checkbox"/>	間接補助	<input type="checkbox"/>	補助先			
		貸付	<input type="checkbox"/>	貸付先					
		その他	<input type="checkbox"/>	その他の内容					
	事業内容（金額を含めた予算の執行内容）								
	●交通安全施設修繕料					2,989,300円			
	区画線修繕	1件			165,000円				
カーブミラー修繕	24件			2,396,300円					
ガードレール修繕	2件			428,000円					
●交通安全施設設置工事					1,457,500円				
カーブミラー設置工事	9件			1,457,500円					
合計					4,446,800円				
関連事業									

単年度用

R3決算用

事業番号	4 - 75 - 10 - 1		成果説明書・掲載事業								
事業シート（概要説明書）											
科目	款	2	総務費	項	1	総務管理費	目	6	交通安全対策費		
事業名	交通安全施設対策事業					担当課	建設課				
[単位：千円]	令和4年度（予算）		令和3年度（決算）		令和2年度（決算）		令和元年度（決算）				
コスト	合計	4,500		4,447		4,357		4,411			
	内訳 (人件費を除く)	需用費	3,000		2,989		2,966		2,958		
		工事請負費	1,500		1,458		1,391		1,453		
	合計	0.50 人	3,276		3,276		3,196		3,513		
	人件費	正職員	0.40 人	3,084		3,084		2,979		3,257	
		臨時職員等	0.10 人	192		192		217		256	
	総事業費	7,776		7,723		7,553		7,924			
財源	合計	4,500		4,447		4,357		4,411			
	国県支出金										
		国県支出金の内容									
	地方債										
	その他特財	その他特財の内容									
一般財源	4,500		4,447		4,357		4,411				
事業実績	活動指標名（実績値/目標値）				単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度			
	カーブミラー修繕				件	24	22	13			
	ガードレール修繕				件	2	3	4			
	交通安全施設設置工事				円	1,457,500	1,391,170	1,452,480			
単位当たりコスト	総事業費	／	市民	円	187	179	185				
事業成果	成果目標	安全で円滑な交通の推進を目的とすることから、市内人身事故発生件数の削減。									
	成果指標名（実績値/目標値）				単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度			
	市内人身事故発生件数（各年1.1～12.31の件数）				件	63	104	109			
事業の自己評価	交通安全施設の拡充を図るとともに、交通安全啓蒙活動も重要である。										
比較参考値											
その他特記すべき事項											

単年度用

R3決算用

事業番号	40 - 13 - 5 - 1	成果説明書・掲載事業		
事業シート（概要説明書）				
科目	款 8 土木費	項 1 土木管理費	目 1 土木総務費	
事業名	土木総務関係費 1		担当課 建設課	
総合戦略施策名	基本目標		担当係 管理補修係	
	基本的な施策の方向	施策番号	作成責任者 吉田晃洋	
事務区分	自治事務 <input type="radio"/>	法定受託事務 <input type="radio"/>	事業開始年度	
根拠法令等	地方自治法、公共用財産管理条例			
実施の背景	「地方分権の推進を図るための関係法律の整備等に関する法律」（地方分権一括法）が平成12年4月1日に施行され、国土交通省（旧建設省）所管の赤道（里道）・青道（水路）などの法定外公共物が無償で市町村へ譲与されたことに伴い、市が法定外公共物の所有者となり、財産管理・機能管理ともに行うことになった。			
目的	法定外公共物の維持管理のため。			
事業概要	対象	市民	対象者数(全住民に対する割合) 41,248 人 (100.0 %)	
	実施方法	直接実施 <input type="radio"/>	業務委託 <input type="radio"/>	一部委託 <input type="radio"/>
		委託先・指定管理者		
		直接補助	間接補助	補助先
		貸付	貸付先	実施主体
その他	その他の内容			
事業内容（金額を含めた予算の執行内容）				
<ul style="list-style-type: none"> ●法定外公共物の財産管理者として、適正な管理をするための事務費 消耗品 257,213円 トナーカートリッジ チューブファイル ゼンリンデジタルタウン2020 ●法定外公共物の財産管理者として、適正な管理をするための管理システム用機器保守業務委託 カラープリンター 1台 委託料 53,900円 【契約期間 R3. 4. 1~R4. 3. 31】 ●建設課天羽地区詰所清掃管理委託 164,565円 【契約期間 R3. 4. 1~R4. 3. 31】 ●法定外公共物の財産管理者として、適正な管理をするための管理システム用機器借上料 カラープリンター 1台 借上料 13,200円 【再リース契約期間 R3. 4. 1~R4. 3. 31】 ●法定外公共物の財産管理者として、適正な管理をするための情報取得放送受信料 NHK放送受信料 13,973円 				
関連事業				

単年度用

R3決算用

事業番号	40 - 13 - 5 - 1		成果説明書・掲載事業							
事業シート（概要説明書）										
科目	款	8	土木費	項	1	土木管理費	目	1	土木総務費	
事業名	土木総務関係費 1					担当課	建設課			
[単位：千円]	令和4年度（予算）		令和3年度（決算）		令和2年度（決算）		令和元年度（決算）			
コスト	合計	541		502		377		203		
	（人件費を除く） 内 訳	需用費	260		257		254		137	
		委託料	216		218		54		53	
		旅費	36		27		54		13	
		使用料及び賃借料	29				13			
							2			
	人件費	合計	1.70 人	13,105	1.70 人	13,105	1.70 人	12,662	1.70 人	13,841
		正職員	1.70 人	13,105	1.70 人	13,105	1.70 人	12,662	1.70 人	13,841
		臨時職員等	人	0	人	0	人	0	人	0
	総事業費	13,646		13,607		13,039		14,044		
財源	合計	541		502		377		203		
	国県支出金									
	地方債									
	その他特財	7		10		21		9		
	一般財源	534		492		356		194		
事業実績	活動指標名（実績値/目標値）		単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度				
	公共用財産使用許可申請		件	68	75	58				
	法定外公共物の用途廃止申請		件	6	2	3				
	単位当たりコスト		総事業費	/						
事業成果	成果目標	法定外公共物の適正な管理を行うものであり、成果指標を設定することは困難である。								
	成果	成果指標名（実績値/目標値）		単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度			
事業の自己評価	本市が所有する法定外公共物のその多くが境界未確定であり、位置・範囲の特定が不明確である。費用対効果等を考慮すると、本市が積極的に境界確定を行い、管理していくことは困難であり、現状のままでの管理を継続していく。									
比較参考値										
その他特記すべき事項										

単年度用

R3決算用

事業番号	40 - 13 - 7 - 1	成果説明書・掲載事業		
事業シート（概要説明書）				
科目	款 8 土木費	項 1 土木管理費	目 1 土木総務費	
事業名	土木総務関係費 2		担当課 建設課	
総合戦略施策名	基本目標		担当係 用地係	
	基本的な施策の方向	施策番号	作成責任者 小倉 修一	
事務区分	自治事務 <input type="radio"/>	法定受託事務 <input type="radio"/>	事業開始年度 昭和46年度	
根拠法令等				
実施の背景	用地係の所管事務を遂行するための経費。			
目的	用地係の所管事務を円滑に遂行することを目的とする。			
事業概要	対象	市民	対象者数(全住民に対する割合) 41,248 人 (100.0 %)	
	実施方法	直接実施 <input type="radio"/>	業務委託 <input type="radio"/>	一部委託 <input type="radio"/>
		委託先・指定管理者 立会業務代行、登記業務…千葉県公共嘱託登記土地家屋調査士協会		
		直接補助	間接補助	補助先
		貸付	貸付先	実施主体
		その他	その他の内容	
事業内容（金額を含めた予算の執行内容）				
	●旅費		1,180円	
	●消耗品費		706,132円	
	・境界標		654,225円	
	・事務用品		36,531円	
	・書籍		15,376円	
	●道路等境界確定に係る立会業務代行委託 用地測量及び登記業務委託		5,823,763円	
	・立会業務代行委託		3,121,800円	
	R3年度発注件数		75件	
	境界確定件数（過年度分含む）		83件	
	・用地測量及び登記業務委託(5件)		2,701,963円	
	●草刈業務委託		1,747,900円	
	・（仮称）富津バスターミナル用地		1,463,000円	
	・下飯野、小久保地先		284,900円	
	●負担金補助		4,000円	
	千葉県公共用地対策協議会分担金		4,000円	
関連事業				

単年度用

R3決算用

事業番号	40 - 13 - 7 - 1		成果説明書・掲載事業							
事業シート（概要説明書）										
科目	款	8	土木費	項	1	土木管理費	目	1	土木総務費	
事業名	土木総務関係費 2					担当課	建設課			
[単位：千円]	令和4年度（予算）		令和3年度（決算）		令和2年度（決算）		令和元年度（決算）			
コスト	合計	12,456		8,283		5,893		5,735		
	（人件費を除く） 内 訳	委託料	11,717		7,572		4,914		4,766	
		需用費	725		706		697		公有財産購入費 488	
		旅費	12		負担金補助及び交付金 4		公有財産購入費 227		役務費 312	
		負担金補助及び交付金	2		旅費 1		役務費 44		負担金補助及び交付金 77	
						その他 11		その他 92		
	人件費	合計	1.60 人 12,334		1.26 人 9,713		1.88 人 14,003		1.75 人 14,248	
		正職員	1.60 人 12,334		1.26 人 9,713		1.88 人 14,003		1.75 人 14,248	
		臨時職員等	人 0		人 0		人 0		人 0	
	総事業費	24,790		17,996		19,896		19,983		
財源	合計	12,456		8,283		5,893		5,735		
	国県支出金									
	国県支出金の内容									
	地方債									
	その他特財							7		
その他特財の内容										
一般財源	12,456		8,283		5,893		5,728			
事業実績	活動実績	活動指標名（実績値/目標値）			単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度		
		道路等境界確定に係る立会代行業務（発注）			件	75	77	55		
		道路等境界確定に係る登記業務			件	5	4	3		
	公共用地対策協議会通常総会 官公署登記事務連絡協議会通常総会・理事会			回	1	各1	各1			
単位当たりコスト	総事業費 /									
事業成果	成果目標	財産管理者として管理義務があるため、法定外公共物の適正な管理を図る。								
	成果	成果指標名（実績値/目標値）			単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度		
		道路等境界査定申請に係る境界確定			件	83	58	53		
事業の自己評価	本市が所有する法定外公共物の多くが境界未確定であり、位置・範囲の特定が不明確である。費用対効果等を考慮すると本市が積極的に境界確定を行い、管理していくことは困難であり、現状のままでの管理を継続していく。									
比較参考値										
その他特記すべき事項										

単年度用

R3決算用

事業番号	42 - 13 - 5 - 1	成果説明書・掲載事業		
事業シート（概要説明書）				
科目	款 8 土木費	項 2 道路橋梁費	目 1 道路橋梁総務費	
事業名	道路橋梁総務関係費		担当課 建設課	
総合戦略施策名	基本目標		担当係 管理補修係	
	基本的な施策の方向	施策番号	作成責任者 吉田晃洋	
事務区分	自治事務	法定受託事務	事業開始年度 昭和46年度	
根拠法令等	道路法			
実施の背景	道路管理者として管理業務を遂行するための経費。			
目的	道路管理業務を円滑に遂行することを目的とする。			
事業概要	対象	市民	対象者数(全住民に対する割合) 41,248 人 (100.0 %)	
	実施方法	直接実施	<input type="radio"/>	業務委託
				一部委託
				指定管理
		委託先・指定管理者		
		直接補助		間接補助
			補助先	
	貸付		貸付先	
	その他		その他の内容	
	事業内容（金額を含めた予算の執行内容）			
<ul style="list-style-type: none"> ●光熱水費 409,557円 大貫駅地下歩道水道料 16,500円 バスストップ等電気料（バスストップ、駐車場、監視カメラ、トイレ） 393,057円 ●手数料 36,460円 浅間山バスストップトイレ浄化槽点検 5,000円 浅間山バスストップトイレ水質点検 31,460円 ●道路賠償責任保険料 561,120円 （市道492km、その他道路28km） ●道路台帳作成業務委託料 2,838,000円 富津市道路台帳補正業務委託 ●バスストップ 駐車場トイレ浄化槽保守点検 34,650円 富津浅間山バスストップ駐車場トイレ浄化槽保守点検業務委託 ●バスストップ 駐車場トイレ清掃業務委託 241,360円 富津浅間山バスストップ駐車場トイレ清掃管理委託 ●道路排水施設管理費負担金 188,051円 【県道大貫青堀線（大堀立体地下道） 大堀アンダーパス排水機場の維持管理費】 （負担割合） 県93.4%、市6.6% [流入量比] ●県道路協会負担金 45,000円 通常会費 21,000円 特別会費 24,000円 				
関連事業				

単年度用

R3決算用

事業番号	42 - 13 - 5 - 1		成果説明書・掲載事業							
事業シート（概要説明書）										
科目	款	8	土木費	項	2	道路橋梁費	目	1	道路橋梁総務費	
事業名	道路橋梁総務関係費					担当課	建設課			
[単位：千円]	令和4年度（予算）		令和3年度（決算）		令和2年度（決算）		令和元年度（決算）			
コスト	合計	4,782		4,355		4,134		1,335		
	内 訳 (人件費を除く)	委託料	3,514	委託料	3,114	委託料	3,049	委託料	565	
		需用費	429	需用費	410	需用費	372	需用費	562	
		役務費	601	役務費	598	役務費	562	役務費	147	
		負担金補助及び交付金	238	負担金補助及び交付金	233	負担金補助及び交付金	151	負担金補助及び交付金	61	
	人件費	合計	0.05 人	385	0.05 人	385	0.05 人	372	0.05 人	407
		正職員	0.05 人	385	0.05 人	385	0.05 人	372	0.05 人	407
		臨時職員等	人	0	人	0	人	0	人	0
	総事業費	5,167		4,740		4,506		1,742		
	財源	合計	4,782		4,355		4,134		1,335	
財源	国県支出金									
		国県支出金の内容								
	地方債									
	その他特財	22	16							
		その他特財の内容 印鑑証明・諸証明手数料								
一般財源	4,760		4,339		4,134		1,335			
事業実績	活動実績	活動指標名（実績値/目標値）				単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	
	単位当たりコスト	総事業費 /								
事業成果	成果目標	道路の適正な維持管理を行うものであり、成果指標を設定することは困難である。								
	成 果	成果指標名（実績値/目標値）				単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	
事業の自己評価	財産管理者として適正な維持管理を図るため、市道等のパトロールを定期的を実施する。									
比較参考値										
その他特記すべき事項										

単年度用

R3決算用

事業番号	42 - 15 - 5 - 1	成果説明書・掲載事業		
事業シート（概要説明書）				
科目	款 8 土木費	項 2 道路橋梁費	目 1 道路橋梁総務費	
事業名	防犯灯整備事業		担当課 建設課	
総合戦略施策名	基本目標		担当係 管理補修係	
	基本的な施策の方向	施策番号	作成責任者 吉田晃洋	
事務区分	自治事務 <input type="radio"/>	法定受託事務 <input type="radio"/>	事業開始年度 昭和46年度	
根拠法令等	防犯灯等整備対策要綱			
実施の背景	<p>夜間における犯罪の発生を防止し、公衆の安全を図る防犯灯の整備を促進。 →昭和36年8月「防犯灯等整備対策要綱」を閣議決定。 民間人の維持管理する防犯灯については、市町村は努めて費用負担することとなっている。</p>			
目的	<p>夜間の犯罪や事故を未然に防止し、安全・安心な街づくりのために大きな役割を果す防犯灯を整備する。</p>			
事業概要	対象	市民	対象者数(全住民に対する割合) 41,248 人 (100.0 %)	
	実施方法	直接実施 <input type="radio"/>	業務委託 <input type="radio"/>	一部委託 <input type="radio"/>
		委託先・指定管理者 富津市防犯灯LED化事業・・・日立キャピタル(株)		
		直接補助	間接補助	補助先
		貸付	貸付先	実施主体
その他	その他の内容			
事業内容（金額を含めた予算の執行内容）				
<p>●光熱水費・・・電気料 17,745,850円 ・一括前払い契約により支出（メーター設置箇所等を除く。）</p> <p>●修繕料・・・2,012,645円 ・防犯灯修繕 16箇所 510,821円 ・道路照明灯修繕 15箇所 1,501,824円</p> <p>●LED防犯灯借上料 7,717,680円 ・月額643,140円×12ヶ月 ・5,455灯 ・借上ている防犯灯の修繕料含む</p> <p>●防犯灯新設工事 31灯 874,208円 ・前期 14灯 314,000円 ・後期 16灯 527,560円 ・追加 1灯 32,648円</p> <p>※新設工事以外での防犯灯の増減 地元区からの寄付 3灯</p> <p>H31.3.31時点 6,582灯 R2.3.31時点 6,623灯 R3.3.31時点 6,655灯 R4.3.31時点 6,696灯</p>				
関連事業				

単年度用

R3決算用

事業番号	42 - 15 - 5 - 1		成果説明書・掲載事業							
事業シート（概要説明書）										
科目	款	8	土木費	項	2	道路橋梁費	目	1	道路橋梁総務費	
事業名	防犯灯整備事業					担当課	建設課			
[単位：千円]	令和4年度（予算）		令和3年度（決算）		令和2年度（決算）		令和元年度（決算）			
コスト	合計	29,438		28,350		27,362		27,117		
	内 訳 (人件費を除く)	需用費	20,730		19,758		18,757		18,726	
		使用料及び賃借料	7,718		7,718		7,718		7,718	
		工事請負費	990		874		887		673	
	人件費	合計	0.50 人		0.50 人		0.50 人		0.50 人	
		正職員	0.50 人		0.50 人		0.50 人		0.50 人	
		臨時職員等	人		0		人		0	
	総事業費	33,292		32,204		31,086		31,188		
	財源	合計	29,438		28,350		27,362		27,117	
国県支出金										
		国県支出金の内容								
地方債										
その他特財										
		その他特財の内容								
一般財源	29,438		28,350		27,362		27,117			
事業実績	活動実績	活動指標名（実績値/目標値）			単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度		
		LED灯導入数（リース管理）			灯	5455	5,455	5,455		
		要望にかかる新規導入数（LED灯）			灯	31	38	42		
	撤去（廃止）数			灯	1	0	1			
単位当たりコスト	総事業費	/	富津市民		781	737	729			
事業成果	成果目標	安全・安心な街づくりを目的としていることから、市内犯罪件数の削減。								
	成 果	成果指標名（実績値/目標値）			単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度		
		市内発生犯罪件数（各年1.1～12.31の件数）			件	135	211	287		
事業の自己評価	各区からの要望に対応できるよう効率的に防犯灯を設置し、また、引き続きLED灯を導入し省エネルギー化に努めた。また、住民から修繕等の連絡があった場合には迅速に対応した。									
比較参考値										
その他特記すべき事項	平成27年度に一般公募型プロポーザルにより決定した選定業者と賃貸借契約を締結し、LED灯への交換後（市内5,455灯）、10年間の維持管理（修繕）を含む賃貸借を開始した。									

単年度用

R3決算用

事業番号	42 - 15 - 10 - 1	成果説明書・掲載事業		
事業シート（概要説明書）				
科目	款 8 土木費	項 2 道路橋梁費	目 1 道路橋梁総務費	
事業名	富津聖苑地元整備事業		担当課 建設課	
総合戦略施策名	基本目標		担当係 建設係	
	基本的な施策の方向	施策番号	作成責任者 岩崎 太志	
事務区分	自治事務 <input type="radio"/>	法定受託事務 <input type="radio"/>	事業開始年度 平成30年度	
根拠法令等	本郷区との覚書			
実施の背景	富津聖苑の操業にあたり、本郷区と「火葬場を地元地区に設置する年限は業務開始時から25年以内とする。」（平成30年1月末まで）との覚書を締結した、このことに伴い、今後の火葬場の在り方について協議をした結果、君津地域4市での広域での火葬場整備を行うこととなった。しかし、広域火葬場の稼働が覚書の期限に間に合わないことから、改めて、要望事項等を記した使用期限延長の覚書を取り交わした。			
目的	本郷区と締結した覚書を順守し、市が管理する道路の安全な通行を確保するため、維持・補修を行う。 夜間の犯罪や事故を未然に防止し、安全・安心な街づくりのために大きな役割を果す防犯灯を整備する。			
事業概要	対象	市民	対象者数(全住民に対する割合) 41,248 人 (100.0 %)	
	実施方法	直接実施 <input type="checkbox"/>	業務委託 <input type="radio"/>	一部委託 <input type="checkbox"/>
		委託先・指定管理者 市内業者		
		直接補助 <input type="checkbox"/>	間接補助 <input type="checkbox"/>	補助先 <input type="checkbox"/>
		貸付 <input type="checkbox"/>	貸付先 <input type="checkbox"/>	実施主体 <input type="checkbox"/>
その他 <input type="checkbox"/>	その他の内容 <input type="checkbox"/>			
事業内容（金額を含めた予算の執行内容）				
<p>●市道林道本郷線舗装工事 10,780,000円 アスファルト舗装工 A=2,065㎡</p>				
関連事業				

単年度用

R3決算用

事業番号	42 - 15 - 10 - 1		成果説明書・掲載事業							
事業シート（概要説明書）										
科目	款	8	土木費	項	2	道路橋梁費	目	1	道路橋梁総務費	
事業名	富津聖苑地元整備事業					担当課	建設課			
[単位：千円]	令和4年度（予算）		令和3年度（決算）		令和2年度（決算）		令和元年度（決算）			
コスト	合計	5,874		10,780		14,575		5,844		
	内訳 (人件費を除く)	工事請負費	5,874	工事請負費	10,780	工事請負費	14,575	使用料及び賃借料	4,453	
								原材料費	1,391	
	人件費	合計	0.38人	2,929	0.38人	2,929	0.38人	2,830	0.10人	814
		正職員	0.38人	2,929	0.38人	2,929	0.38人	2,830	0.10人	814
		臨時職員等	人	0	人	0	人	0	人	0
総事業費	8,803		13,709		17,405		6,658			
財源	合計	5,874		10,780		14,575		5,844		
	国県支出金									
		国県支出金の内容								
	地方債									
	その他特財	5,800								
	その他特財の内容 公共施設等マネジメント基金繰入金									
一般財源	74		10,780		14,575		5,844			
事業実績	活動指標名（実績値/目標値）			単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度			
	防犯灯設置			灯	-	-	-			
	舗装打ち替え			m2	2,065	2,280	998			
	単位当たりコスト			総事業費 / 富津市民						
事業成果	成果目標	富津聖苑の操業にあたり、本郷区と締結した覚書に基づく事業を行うものであり、成果目標の設定は困難である。								
	成果指標名（実績値/目標値）			単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度			
事業の自己評価	覚書に基づく事業を全て実施することが出来た。									
比較参考値										
その他特記すべき事項										

単年度用

R3決算用

事業番号	42 - 25 - 5 - 1	成果説明書・掲載事業		
事業シート（概要説明書）				
科目	款 8 土木費	項 2 道路橋梁費	目 2 道路維持費	
事業名	道路維持事業		担当課 建設課	
総合戦略施策名	基本目標		担当係 管理補修係	
	基本的な施策の方向	施策番号	作成責任者 吉田晃洋	
事務区分	自治事務 <input type="radio"/>	法定受託事務 <input type="radio"/>	事業開始年度 昭和46年度	
根拠法令等	道路法第16条、第42条			
実施の背景	道路管理者として、道路を常時良好な状態に保つように維持し、修繕し、一般交通に支障を及ぼさないように努めなければならない。			
目的	市道等の市が管理する道路の安全な通行を確保するため維持・修繕を行う。			
事業概要	対象	市民	対象者数(全住民に対する割合) 41,248 人 (100.0 %)	
	実施方法	直接実施 <input type="radio"/>	業務委託 <input type="radio"/>	一部委託 <input type="radio"/>
		委託先・指定管理者		
		直接補助	間接補助	補助先
		貸付	貸付先	実施主体
その他	その他の内容			
事業内容（金額を含めた予算の執行内容）				
<ul style="list-style-type: none"> ●直営維持補修 道路面の整備、陥没、側溝蓋の交換など速やかに対応するため、保有資機材を用いて直営で行う。 土のう袋・工事用看板、ダンプ等燃料・車検代、重機借上など・・・49,123,131円 ●委託（外注）維持修繕 危険性の高い箇所の樹木剪定や除草などを委託 11,827,641円 直営で対応困難な、規模の大きな修繕や専門技術を要する維持修繕工事 道路舗装打ち換え、土砂撤去など 8,639,400円 				
合計		69,590,172円		
関連事業				

単年度用

R3決算用

事業番号	42 - 25 - 5 - 1		成果説明書・掲載事業							
事業シート（概要説明書）										
科目	款	8	土木費	項	2	道路橋梁費	目	2	道路維持費	
事業名	道路維持事業					担当課	建設課			
[単位：千円]	令和4年度（予算）		令和3年度（決算）		令和2年度（決算）		令和元年度（決算）			
コスト	合計	54,589		69,590		86,585		64,208		
	内 訳	需用費	19,341	需用費	26,053	需用費	25,312	原材料費	19,872	
		工事請負費	1,540	工事請負費	8,639	工事請負費	21,236	公有財産購入費	8,254	
		委託料	12,000	委託料	11,828	委託料	12,765	工事請負費	7,116	
		使用料及び賃借料	10,000	使用料及び賃借料	10,704	使用料及び賃借料	11,567	使用料及び賃借料	7,044	
		その他	11,708	その他	12,366	その他	15,705	その他	21,922	
	人件費	合計	6.17 人	15,699	12.20 人	62,184	12.20 人	61,833	12.20 人	68,625
		正職員	0.67 人	5,165	6.70 人	51,650	6.70 人	49,904	6.70 人	54,549
		臨時職員等	5.50 人	10,534	5.50 人	10,534	5.50 人	11,929	5.50 人	14,076
	総事業費	70,288		131,774		148,418		132,833		
財源	合計	54,589		69,590		86,585		64,208		
	国県支出金									
		国県支出金の内容								
	地方債									
	その他特財	26,500	32,200		16,700		8,200			
	その他特財の内容 公共施設等マネジメント基金繰入金									
一般財源	28,089	37,390		69,885		56,008				
事業実績	活動実績	活動指標名（実績値/目標値）			単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度		
		道路舗装修繕、排水修繕等			箇所	541	462	434		
	単位当たりコスト	総事業費	／	修繕箇所		244	321	306		
事業成果	成果目標	道路を常時良好な状態に保ち、一般交通に支障を及ぼさないようにする。なお、道路の維持管理状況・一般交通への影響を表す統計値等がなく、成果指標を設定することは困難である。								
	成果	成果指標名（実績値/目標値）			単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度		
事業の自己評価	緊急度・影響度を勘案し優先順位を考慮しながら、限られた予算の中で、安全・安心な道路環境の維持に努める。 道路の老朽化が進み、修繕での対応も限界に近づいている路線もあるため、大規模な修繕工事を実施する必要がある。									
比較参考値										
その他特記すべき事項										

単年度用

R3決算用

事業番号	42 - 35 - 5 - 1	成果説明書・掲載事業		
事業シート（概要説明書）				
科目	款 8 土木費	項 2 道路橋梁費	目 5 橋梁維持費	
事業名	橋梁維持事業		担当課 建設課	
総合戦略施策名	基本目標		担当係 管理補修係	
	基本的な施策の方向	施策番号	作成責任者 吉田晃洋	
事務区分	自治事務 <input type="radio"/>	法定受託事務 <input type="radio"/>	事業開始年度 昭和46年度	
根拠法令等	道路法第16条、第42条			
実施の背景	道路管理者として、道路を構成する橋梁を常時良好な状態に保つように維持し、修繕し、一般交通に支障を及ぼさないように努めなければならない。			
目的	市道等の市が管理する道路を構成する橋梁の安全な通行を確保するため維持・修繕を行う。			
事業概要	対象	市民	対象者数(全住民に対する割合) 41,248 人 (100.0 %)	
	実施方法	直接実施 <input type="radio"/>	業務委託 <input type="radio"/>	一部委託 <input type="radio"/>
		委託先・指定管理者 市内業者		
		直接補助	間接補助	補助先 実施主体
		貸付	貸付先	
その他	その他の内容			
事業内容（金額を含めた予算の執行内容）				
<ul style="list-style-type: none"> ● 橋梁維持修繕料 恩田橋高欄修繕工事 869,000円 ● 流木処分委託料 丹後橋流木撤去等処分業務委託 2,653,200円 				
関連事業				

単年度用

R3決算用

事業番号	42 - 35 - 5 - 1		成果説明書・掲載事業								
事業シート（概要説明書）											
科目	款	8	土木費	項	2	道路橋梁費	目	5	橋梁維持費		
事業名	橋梁維持事業					担当課	建設課				
[単位：千円]	令和4年度（予算）		令和3年度（決算）		令和2年度（決算）		令和元年度（決算）				
コスト	合計	880		3,522		262		469			
	内訳 (人件費を除く)	需用費	880		需用費	869		需用費	262		
					委託料	2,653			委託料	370	
									補償補填及び賠償金	99	
	人件費	合計	6.68 人	16,733	1.28 人	6,391	1.28 人	6,366	0.40 人	2,698	
		正職員	0.68 人	5,242	0.68 人	5,242	0.68 人	5,065	0.30 人	2,442	
		臨時職員等	6.00 人	11,491	0.60 人	1,149	0.60 人	1,301	0.10 人	256	
総事業費	17,613		9,913		6,628		3,167				
財源	合計	880		3,522		262		469			
	国県支出金										
		国県支出金の内容									
	地方債										
	その他特財	800		800							
	その他特財の内容		公共施設等マネジメント基金繰入金								
一般財源	80		2,722		262		469				
事業実績	活動実績	活動指標名（実績値/目標値）			単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度			
		橋梁修繕等			箇所	2	1	2			
	単位当たりコスト	総事業費	/	修繕箇所		4,957	6,628	1,584			
事業成果	成果目標	橋梁を常時良好な状態に保ち、一般交通に支障を及ぼさないようにする。なお、橋梁の維持管理状況・一般交通への影響を表す統計値等がなく、成果指標を設定することは困難である。									
	成果	成果指標名（実績値/目標値）			単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度			
事業の自己評価	緊急度・影響度を勘案し優先順位を考慮しながら、限られた予算の中で、安全・安心な橋梁の維持に努める。 道路の老朽化が進み、修繕での対応も限界に近づいている路線もあるため、大規模な修繕工事を実施する必要がある。										
比較参考値											
その他特記すべき事項											

複数年度用

R3決算用

事業番号	42 - 45 - 15 - 1	成果説明書・掲載事業		
事業シート（概要説明書）				
科目	款 8 土木費	項 2 道路橋梁費	目 3 道路新設改良費	
事業名	市道湊富士見台線整備事業		担当課 建設課	
総合戦略施策名	基本目標		担当係 建設係	
	基本的な施策の方向	施策番号	作成責任者 岩崎 太志	
事務区分	自治事務 <input type="radio"/>	法定受託事務 <input type="radio"/>	事業開始年度 平成30年度	
根拠法令等	道路法			
実施の背景	当該市道については、天羽中学校への通学路を兼ねる生活圏道路であるが、道路幅員が狭く車の通行や歩行者の安全に支障があるため、改良する必要性が高い。			
目的	拡幅可能な箇所について拡幅工事を実施し、道路環境の整備を図ることを目的とする。			
事業概要	対象	市民	対象者数(全住民に対する割合) 41,248 人 (100.0 %)	
	実施方法	直接実施 <input type="radio"/>	業務委託 <input type="radio"/>	一部委託 <input type="radio"/>
		指定管理 <input type="radio"/>		
		委託先・指定管理者	登記業務…千葉県公共嘱託登記土地家屋調査士協会	
		直接補助 <input type="radio"/>	間接補助 <input type="radio"/>	補助先 <input type="radio"/>
		貸付 <input type="radio"/>	貸付先 <input type="radio"/>	実施主体 <input type="radio"/>
	その他 <input type="radio"/>	その他の内容 <input type="radio"/>		
	事業内容（金額を含めた予算の執行内容）			
	全体計画	計画期間	平成 30 年度 ~ 令和 5 年度	
		市道湊富士見線整備事業 L=920m W=4.5~7.0m ●市道湊富士見台線及び排水路 測量、用地測量、設計業務、不動産鑑定、用地取得、登記業務、埋蔵文化財調査 道路・排水整備工事		
施行済	道路改良工事、測量、設計業務、不動産鑑定			
当該年度	●旅費 7,960円 ●消耗品 156,000円 ●用地測量業務委託 5,610,000円 ●不動産鑑定 566,500円（繰越明許） ●流末排水設計業務委託 2,420,000円（繰越明許） ●登記業務 2,744,016円（繰越明許） ●道路用地取得 2,029,680円（繰越明許）			
翌年度以降	用地測量、設計業務、物件調査、用地取得、物件補償、登記業務、埋蔵文化財調査 道路・排水整備工事			
関連事業				

複数年度用

R3決算用

事業番号	42 - 45 - 15 - 1		成果説明書・掲載事業							
事業シート（概要説明書）										
科目	款	8	土木費	項	2	道路橋梁費	目	3	道路新設改良費	
事業名	市道湊富士見台線整備事業					担当課	建設課			
[単位：千円]	令和4年度（予算）		令和3年度（決算）		令和2年度（決算）		令和元年度（決算）			
コスト	合計	94,146		13,534		58,039		0		
	（人件費を除く） 内 訳	工事請負費	70,000	委託料	10,774	工事請負費	33,019			
		委託料	13,363	公有財産購入費	2,030	委託料	25,020			
		公有財産購入費	10,725	役務費	566					
		旅費	35	需用費	156					
		需用費	23	旅費	8					
	人件費	合計	1.36 人	10,484	1.36 人	10,484	0.30 人	2,235	0.30 人	2,442
		正職員	1.36 人	10,484	1.36 人	10,484	0.30 人	2,235	0.30 人	2,442
		臨時職員等	人	0	人	0	人	0	人	0
	総事業費	104,630		24,018		60,274		2,442		
財源	合計	94,146		13,534		58,039		0		
	国県支出金									
		国県支出金の内容								
	地方債	80,700		12,700		57,100				
	その他特財									
		その他特財の内容								
一般財源	13,446		834		939		0			
事業実績	活動実績	活動指標名（実績値/目標値）			単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度		
		用地取得			千円	2,030				
	単位当たりコスト	総事業費 /								
事業成果	成果目標	天羽中学校生徒の学習環境、生徒、市民の安全を確保しながら整備を図る。								
	成果	成果指標名（実績値/目標値）			単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度		
		道路の完成			路線					
事業の自己評価										
比較参考値										
その他特記すべき事項										

事業番号	42 - 45 - 57 - 1	成果説明書・掲載事業		
事業シート（概要説明書）				
科目	款 8 土木費	項 2 道路橋梁費	目 3 道路新設改良費	
事業名	二間塚地域排水整備事業		担当課 建設課	
総合戦略施策名	基本目標		担当係 建設係	
	基本的な施策の方向	施策番号	作成責任者 岩崎 太志	
事務区分	自治事務 <input type="radio"/>	法定受託事務 <input type="radio"/>	事業開始年度 平成30年度	
根拠法令等				
実施の背景	長年二間塚地域において地域排水と農業用水が兼用されてきたが、農業用水の経路変更に伴い当該水路が利用されないため、水路整備と流末変更の必要がある。			
目的	地域排水を整備し、地域の生活を安心、安全にする。			
事業概要	対象	市民	対象者数(全住民に対する割合) 41,248 人 (100.0 %)	
	実施方法	直接実施 <input type="radio"/>	業務委託 <input type="radio"/>	一部委託 <input type="radio"/>
		委託先・指定管理者 入札による		
		直接補助 <input type="radio"/>	間接補助 <input type="radio"/>	補助先 <input type="radio"/>
		貸付 <input type="radio"/>	貸付先 <input type="radio"/>	実施主体 <input type="radio"/>
		その他 <input type="radio"/>	その他の内容 <input type="radio"/>	
	事業内容（金額を含めた予算の執行内容）			
	全体計画	計画期間	平成 30 年度 ~ 令和 4 年度	
	<ul style="list-style-type: none"> ●二間塚地域排水整備事業 L=610m 事業内容 境界測量、設計業務、物件補償、道路・排水整備工事 			
	施行済			
道路改良工事、測量、設計業務				
当該年度				
<ul style="list-style-type: none"> ●二間塚地域排水整備工事ほか1件 34,226,500円 ●二間塚地域排水整備（その1）工事 60,874,000円（繰越明許） ●二間塚地域排水整備（その1）工事に伴う補償 1,676円（繰越明許） 				
翌年度以降				
道路・排水整備工事、物件補償、家屋調査				
関連事業				

複数年度用

R3決算用

事業番号	42 - 45 - 57 - 1		成果説明書・掲載事業							
事業シート（概要説明書）										
科目	款	8	土木費	項	2	道路橋梁費	目	3	道路新設改良費	
事業名	二間塚地域排水整備事業					担当課	建設課			
[単位：千円]	令和4年度（予算）		令和3年度（決算）		令和2年度（決算）		令和元年度（決算）			
コスト	合計	13,500		95,102		41,770		8,140		
	（人件費を除く） 内 訳	工事請負費	10,000	工事請負費	95,100	工事請負費	38,720	委託料	8,140	
		委託料	3,500	補償補填及び賠償金	2	委託料	3,050			
	人件費	合計	0.30 人	2,313	0.30 人	2,313	0.30 人	2,235	0.30 人	2,442
		正職員	0.30 人	2,313	0.30 人	2,313	0.30 人	2,235	0.30 人	2,442
		臨時職員等	人	0	人	0	人	0	人	0
	総事業費	15,813		97,415		44,005		10,582		
	財源	合計	13,500		95,102		41,770		8,140	
		国県支出金								
		国県支出金の内容								
地方債		9,000		93,800		38,700				
その他特財										
	その他特財の内容									
一般財源	4,500		1,302		3,070		8,140			
事業実績	活動実績	活動指標名（実績値/目標値）			単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度		
	単位当たりコスト	総事業費 /								
事業成果	成果目標	地域排水整備事業の完成								
	成 果	成果指標名（実績値/目標値）			単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度		
		排水路、道路の完成			路線	0	0	0		
事業の自己評価	地域排水を整備し、道路拡幅することで、市民生活の安全、安心を向上させる。									
比較参考値										
その他特記すべき事項										

単年度用

R3決算用

事業番号	42 - 45 - 59 - 1	成果説明書・掲載事業		
事業シート（概要説明書）				
科目	款 8 土木費	項 2 道路橋梁費	目 3 道路新設改良費	
事業名	市道等局部改良事業		担当課 建設課	
総合戦略施策名	基本目標		担当係 建設係	
	基本的な施策の方向	施策番号	作成責任者 岩崎 太志	
事務区分	自治事務 <input type="radio"/>	法定受託事務 <input type="radio"/>	事業開始年度 平成30年度	
根拠法令等				
実施の背景	道路、橋梁、水路等の施設が経年劣化し、機能低下が生じている状況を改善する必要がある。			
目的	著しく低下した各施設の機能を回復させ、市民生活を安定させる。			
事業概要	対象	市民	対象者数(全住民に対する割合) 41,248 人 (100.0 %)	
	実施方法	直接実施 <input type="checkbox"/>	業務委託 <input type="radio"/>	一部委託 <input type="checkbox"/>
		委託先・指定管理者 市内業者		
		直接補助 <input type="checkbox"/>	間接補助 <input type="checkbox"/>	補助先
		貸付 <input type="checkbox"/>	貸付先	
その他 <input type="checkbox"/>	その他の内容			
事業内容（金額を含めた予算の執行内容）				
<ul style="list-style-type: none"> ●排水整備工事 <ul style="list-style-type: none"> ・市道相川竹岡線排水整備工事ほか6件 18,362,300円 ●道路補修等工事 <ul style="list-style-type: none"> ・亀沢地先フェンス設置工事 4,895,000円 				
関連事業				

単年度用

R3決算用

事業番号	42 - 45 - 59 - 1		成果説明書・掲載事業								
事業シート（概要説明書）											
科目	款	8	土木費	項	2	道路橋梁費	目	3	道路新設改良費		
事業名	市道等局部改良事業					担当課	建設課				
[単位：千円]	令和4年度（予算）		令和3年度（決算）		令和2年度（決算）		令和元年度（決算）				
コスト	合計	15,000		23,257		14,520		9,677			
	内訳 (人件費を除く)	工事請負費	15,000		23,257		14,520		9,677		
	人件費	合計	0.30 人	2,313		0.30 人	2,235		0.30 人	2,442	
		正職員	0.30 人	2,313		0.30 人	2,235		0.30 人	2,442	
臨時職員等		人	0		人	0		人	0		
総事業費	17,313		25,570		16,755		12,119				
財源	合計	15,000		23,257		14,520		9,677			
	国県支出金										
		国県支出金の内容									
	地方債	13,500		11,500		13,000		8,700			
	その他特財										
	その他特財の内容										
一般財源	1,500		11,757		1,520		977				
事業実績	活動指標名（実績値/目標値）					単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度		
	活動実績										
	単位当たりコスト					総事業費 / 富津市民					
事業成果	成果目標	著しく低下した施設の機能を回復する工事を完了する。									
	成果	成果指標名（実績値/目標値）					単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	
事業の自己評価	今後増加が予想される著しく低下する施設の機能回復に対応する必要がある。										
比較参考値											
その他特記すべき事項											

複数年度用

R3決算用

事業番号	42 - 60 - 15 - 1	成果説明書・掲載事業	○
事業シート（概要説明書）			
科目	款 8 土木費	項 2 道路橋梁費	目 4 橋梁維持費
事業名	橋梁長寿命化修繕事業		担当課 建設課
総合戦略施策名	基本目標	__3くらしやすく移住しやすい環境づくり__	
	基本的な施策の方向	① くらしやすい環境を整える	担当係 建設係 作成責任者 岩崎 太志 施策番号 3
事務区分	自治事務 ○	法定受託事務	事業開始年度 平成25年度
根拠法令等	道路法		
実施の背景	日本の道路橋は、昭和30年代に始まる高度経済成長期を中心に大量に建設され、これら道路橋の多くは建設後約40年～50年が経過し、更に管理橋梁の多くが、急速に高齢化が進む状況となっている。		
目的	本計画は、定期点検による橋梁の状態の把握、予防的な修繕および計画的な架け替えを着実に進め、橋梁の長寿命化と橋梁の修繕・架け替えに係る費用の縮減を図りつつ、重要な道路ネットワークの安全性・信頼性を確保することを目的とする。		
対 象	市民		対象者数(全住民に対する割合) 41,248 人 (100.0 %)
	直接実施	業務委託 ○	一部委託
	委託先・指定管理者 入札による		
	直接補助	間接補助	補助先
	貸付	貸付先	
実施方法	その他	その他の内容	
事業内容（金額を含めた予算の執行内容）			
全体計画	計画期間	平成 25 年度 ～ 令和 4 年度	
事業概要	富津市橋梁長寿命化修繕計画に基づき、社会資本整備総合交付金（防災・安全交付金）を活用し、計画的な維持修繕等の実施により橋梁の長寿命化を図る。 ※橋梁長寿命化修繕計画：補修の優先順位を決め、修繕費を試算し、修繕費の平準化を図る計画		
	施行済 富津市道の橋梁点検（5年毎）1回 橋梁長寿命化修繕計画（5年毎）1回 橋梁修繕業務委託 6件 橋梁修繕工事 6橋		
	当該年度 ●橋梁（海岸橋、桜井橋、神田橋、久縄橋、丹後橋）補修工事 計190,527,200円 ●橋梁補修設計（一川橋、平和橋）業務委託等 計13,893,000円（内42-61-25単独事業分913,000円含む） ●海岸橋補修工事に伴う電線通信線移設 1,142,825円		
	翌年度以降 富津市道の橋梁点検 橋梁長寿命化修繕計画 橋梁補修工事（清滝橋）		
関連事業			

複数年度用

R3決算用

事業番号	42 - 60 - 15 - 1			成果説明書・掲載事業	○					
事業シート（概要説明書）										
科目	款	8	土木費	項	2	道路橋梁費	目	4	橋梁維持費	
事業名	橋梁長寿命化修繕事業				担当課	建設課				
[単位：千円]	令和4年度（予算）		令和3年度（決算）		令和2年度（決算）		令和元年度（決算）			
コスト	合計	80,000		205,563		171,391		45,430		
	（人件費を除く） 内 訳	工事請負費	10,000	工事請負費	190,527	工事請負費	157,696	委託料	45,430	
		委託料	70,000	委託料	13,893	委託料	13,695			
				補償費	1,143					
	合計	0.40 人	3,084	0.40 人	3,084	0.80 人	5,959	0.40 人	3,257	
	人件費	正職員	0.40 人	3,084	0.40 人	3,084	0.80 人	5,959	0.40 人	3,257
		臨時職員等	人	0	人	0	人	0	人	0
	総事業費	83,084		208,647		177,350		48,687		
	財源	合計	80,000		205,563		171,391		45,430	
国県支出金		44,000		100,608		93,451		24,953		
		国県支出金の内容		道路局所管補助金（55%）						
地方債		4,000		77,100		53,900		5,500		
その他特財		500								
		その他特財の内容		公共施設等マネジメント基金繰入金						
一般財源	31,500		27,855		24,040		14,977			
事業実績	活動実績	活動指標名（実績値/目標値）			単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度		
		定期点検業務（橋梁）			業務	—	—	—		
		計画策定業務（橋梁）			業務	—	—	—		
	橋梁補修工事			橋	5	1	—			
単位当たりコスト	総事業費 /									
事業成果	成果目標	富津市の橋梁の長寿命化と橋梁の修繕、架け替えに係る費用の縮減を図りつつ、重要な道路ネットワークの安全性、信頼性を確保するため、計画期間内での整備を成果指標とする。								
	成 果	成果指標名（実績値/目標値）			単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度		
		工事進捗率（対策完了橋/対策実施する192橋）			%	3	1	0		
事業の自己評価	平成26年3月31日国土交通省令第39号により、5年ごとの近接目視による点検が義務づけられたことから、点検結果をふまえ緊急度等を考慮し橋梁を選定し、防災・安全交付金を活用すべく社会資本総合整備計画に盛り込み、引き続き橋梁長寿命化を進めていくこととなる。									
比較参考値										
その他特記すべき事項										

事業番号	42 - 60 - 20 - 1		成果説明書・掲載事業		
事業シート（概要説明書）					
科目	款	8 土木費	項	2 道路橋梁費	
			目	3 道路新設改良費	
事業名	トンネル長寿命化修繕事業			担当課 建設課	
総合戦略施策名	基本目標				
	基本的な施策の方向		施策番号		
担当係	建設係				
作成責任者	岩崎 太志				
事務区分	自治事務	<input type="radio"/>	法定受託事務		
事業開始年度	平成30年度				
根拠法令等	道路法				
実施の背景	富津市が管理しているトンネルは15箇所あり、これらのトンネルの状況を的確に把握し維持していく必要がある。				
目的	本計画は、定期点検によるトンネルの状態の把握、予防的な修繕を着実に進め、トンネルの長寿命化と修繕に係る費用の縮減を図りつつ、重要な道路ネットワークの安全性・信頼性を確保することを目的とする。				
事業概要	対象	市民			
		対象者数(全住民に対する割合)			
		41,248 人 (100.0 %)			
	実施方法	直接実施	<input type="radio"/>	業務委託	<input type="radio"/>
				一部委託	
				指定管理	
		委託先・指定管理者	入札による		
		直接補助		間接補助	
			補助先		
	貸付		貸付先		
その他		その他の内容			
事業内容（金額を含めた予算の執行内容）					
全体計画	計画期間	平成 30 年度 ~ 令和 4 年度			
	<p>●トンネル点検を実施し、富津市トンネル長寿命化修繕計画を作成する。この計画に基づき、社会資本整備総合交付金（防災・安全交付金）を活用し、計画的な維持修繕等の実施によりトンネルの長寿命化を図る。</p> <p>※トンネル長寿命化修繕計画：補修の優先順位を決め、修繕費を試算し、修繕費の平準化を図る計画</p>				
施行済	点検、修繕計画策定業務				
当該年度	<p>●市道郷蔵線及び市道高塚保釜線道トンネル補修工事 9,570,000円</p> <p>●市道高塚保釜線及び埋田木戸堀線トンネル補修工事 9,900,000円（繰越明許）</p> <p>●市道郷蔵線及び市道高塚保釜線道トンネル補修工事に伴う付帯工事 1,100,000円</p>				
翌年度以降	点検・計画策定・詳細設計・補修工事				
関連事業					

複数年度用

R3決算用

事業番号	42 - 60 - 20 - 1		成果説明書・掲載事業							
事業シート（概要説明書）										
科目	款	8	土木費	項	2	道路橋梁費	目	3	道路新設改良費	
事業名	トンネル長寿命化修繕事業					担当課	建設課			
[単位：千円]	令和4年度（予算）		令和3年度（決算）		令和2年度（決算）		令和元年度（決算）			
コスト	合計	0		20,570		0		14,300		
	内訳 (人件費を除く)			工事請負費	20,570				委託料	14,300
	人件費	合計	0.00 人	0	0.27 人	2,081	0.00 人	0	0.27 人	2,198
		正職員	人	0	0.27 人	2,081	0.00 人	0	0.27 人	2,198
	臨時職員等	人	0	人	0	人	0	人	0	
	総事業費	0		22,651		0		16,498		
財源	合計	0		20,570		0		14,300		
	国県支出金			11,000				7,865		
		国県支出金の内容		社会資本整備総合交付金（防災・安全交付金）						
	地方債			8,000						
	その他特財			500						
その他特財の内容		公共施設等マネジメント基金繰入金								
一般財源	0		1,070		0		6,435			
事業実績	活動実績	活動指標名（実績値/目標値）			単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度		
		定期点検業務（トンネル）			業務	—	—	—		
		計画策定業務（トンネル）			業務	—	—	1		
	単位当たりコスト	総事業費 /								
事業成果	成果目標	富津市のトンネルの長寿命化とトンネルの修繕に係る費用の縮減を図りつつ、重要な道路ネットワークの安全性、信頼性を確保するため、計画期間内での整備を成果指標とする。								
	成果	成果指標名（実績値/目標値）			単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度		
		工事進捗率（対策完了トンネル/対策実施するトンネル）			%	27%	—	—		
事業の自己評価	5年ごとの近接目視による点検が義務づけられたことから、点検結果をふまえ緊急度等を考慮しトンネルを選定し、防災・安全交付金を活用すべく社会資本総合整備計画に盛り込み、引き続き長寿命化を進めていくこととなる。									
比較参考値										
その他特記すべき事項										

複数年度用

R3決算用

事業番号	42 - 61 - 40 - 1	成果説明書・掲載事業		
事業シート（概要説明書）				
科目	款 8 土木費	項 2 道路橋梁費	目 3 道路新設改良費	
事業名	法面長寿命化修繕事業		担当課 建設課	
総合戦略施策名	基本目標		担当係 建設係	
	基本的な施策の方向	施策番号	作成責任者 岩崎 太志	
事務区分	自治事務 <input type="radio"/>	法定受託事務 <input type="radio"/>	事業開始年度 平成30年度	
根拠法令等	道路法			
実施の背景	富津市が管理している市道部の法面は多数あり、これらの法面の状況を的確に把握し維持していく必要がある。			
目的	本計画は、定期点検による法面の状態の把握、予防的な修繕を着実に進め、法面の長寿命化と修繕に係る費用の縮減を図りつつ、重要な道路ネットワークの安全性・信頼性を確保することを目的とする。			
事業概要	対象	市民	対象者数(全住民に対する割合) 41,248 人 (100.0 %)	
	実施方法	直接実施 <input type="radio"/>	業務委託 <input type="radio"/>	一部委託 <input type="radio"/>
		委託先・指定管理者 入札による		
		直接補助	間接補助	補助先
		貸付	貸付先	実施主体
その他	その他の内容			
事業内容（金額を含めた予算の執行内容）				
全体計画	計画期間	平成 30 年度 ~ 令和 4 年度		
事業概要	<p>●法面点検を実施し、富津市法面長寿命化修繕計画を作成する。この計画に基づき、社会資本整備総合交付金（防災・安全交付金）を活用し、計画的な維持修繕等の実施により法面の長寿命化を図る。</p> <p>※法面長寿命化修繕計画：補修の優先順位を決め、修繕費を試算し、修繕費の平準化を図る計画</p>			
	施行済	点検・計画策定		
	当該年度	<p>●市道永町日影谷線法面測量業務委託 1,925,000円</p> <p>●市道永町日影谷線法面工事 20,190,000円（前払金）</p> <p>●市道松原下堀切線法面工事ほか1件 17,355,000円（繰越明許）</p>		
	翌年度以降	点検・計画策定・詳細設計・補修工事		
関連事業				

複数年度用

R3決算用

事業番号	42 - 61 - 40 - 1		成果説明書・掲載事業								
事業シート（概要説明書）											
科目	款	8	土木費	項	2	道路橋梁費	目	3	道路新設改良費		
事業名	法面長寿命化修繕事業					担当課	建設課				
[単位：千円]	令和4年度（予算）		令和3年度（決算）		令和2年度（決算）		令和元年度（決算）				
コスト	合計	35,000		39,470		10,465		9,709			
	内訳 (人件費を除く)	委託料	3,000		工事請負費	39,470		委託料	6,865		
		工事請負費	32,000					工事請負費	3,600		
	人件費	合計	0.00 人	0		0.27 人	2,081		0.27 人	2,011	
		正職員	人	0		0.27 人	2,081		0.27 人	2,011	
		臨時職員等	人	0		人	0		人	0	
総事業費	35,000		41,551		12,476		11,907				
財源	合計	35,000		39,470		10,465		9,709			
	国県支出金							4,832			
		国県支出金の内容		社会資本整備総合交付金（防災・安全交付金）							
	地方債	31,500		18,100							
	その他特財	その他特財の内容									
一般財源	3,500		21,370		10,465		4,877				
事業実績	活動実績	活動指標名（実績値/目標値）			単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度			
		定期点検業務（法面）			業務	—	—	1			
		計画策定業務（法面）			業務	—	1	—			
	単位当たりコスト	総事業費 /									
事業成果	成果目標	富津市の法面の長寿命化と法面の修繕に係る費用の縮減を図りつつ、重要な道路ネットワークの安全性、信頼性を確保するため、計画期間内での整備を成果指標とする。									
	成果	成果指標名（実績値/目標値）			単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度			
		工事進捗率（対策完了法面/対策実施する法面）			%	2%	—	—			
事業の自己評価	5年ごとの近接目視による点検が義務づけられたことから、点検結果をふまえ緊急度等を考慮し路線を選定し、防災・安全交付金を活用すべく社会資本総合整備計画に盛り込み、引き続き長寿命化を進めていくこととなる。										
比較参考値											
その他特記すべき事項											

複数年度用

R3決算用

事業番号	42 - 75 - 15 - 1	成果説明書・掲載事業	<input type="radio"/>	
事業シート（概要説明書）				
科目	款 8 土木費	項 2 道路橋梁費	目 3 道路新設改良費	
事業名	市道下飯野線整備事業		担当課 建設課	
総合戦略施策名	基本目標	__3くらしやすく移住しやすい環境づくり__		
	基本的な施策の方向	① くらしやすい環境を整える	担当係 建設係 作成責任者 岩崎 太志 施策番号 3	
事務区分	自治事務 <input type="radio"/>	法定受託事務 <input type="checkbox"/>	事業開始年度 平成25年度	
根拠法令等	道路法			
実施の背景	市道下飯野線は、千葉県で整備が進められている県道君津大貫線（本郷バイパス）と県道大貫青堀線を東西に連絡する、交通移動円滑化に資する重要な路線である。			
目的	当該路線の整備により、市役所本庁舎や消防防災センター等の公共施設と富津市域とのアクセス性が向上し、県道の交通分散化による渋滞緩和と防災機能の強化を図る。			
事業概要	対象	市民	対象者数(全住民に対する割合) 41,248 人 (100.0 %)	
	実施方法	直接実施 <input type="checkbox"/>	業務委託 <input type="radio"/>	一部委託 <input type="checkbox"/>
		委託先・指定管理者 入札による		
		直接補助 <input type="checkbox"/>	間接補助 <input type="checkbox"/>	補助先 <input type="checkbox"/>
		貸付 <input type="checkbox"/>	貸付先 <input type="checkbox"/>	実施主体 <input type="checkbox"/>
その他 <input type="checkbox"/>	その他の内容 <input type="checkbox"/>			
事業内容（金額を含めた予算の執行内容）				
全体計画	計画期間	平成 25 年度 ~ 令和 4 年度		
事業概要	市道下飯野線整備事業 L=1,870m W=11.5m			
	●社会資本整備総合交付金（都市再生整備計画事業）			
	H29年度から社会資本整備総合交付金（道路事業）			
	H24年度	道路詳細設計・地質調査業務		
H25年度	用地測量・土地評価・不動産鑑定・物件調査			
H26年度	用地取得			
H27年度	土地評価・不動産鑑定・物件調査・用地取得・物件補償・道路改良工事			
H28～31年度	用地取得・物件補償・道路改良工事			
R2年度	用地取得・物件調査・物件補償・道路改良工事			
R3年度	道路改良工事			
施行済	道路詳細設計・地質調査・用地測量・土地評価・不動産鑑定・物件調査・用地取得・物件補償・道路改良工事			
当該年度	●道路改良工事 15,209,000円 ●交差点詳細設計業務委託 4,015,000円（4-77-15単独事業分）			
翌年度以降				
関連事業				

複数年度用

R3決算用

事業番号	42 - 75 - 15 - 1		成果説明書・掲載事業	○						
事業シート（概要説明書）										
科目	款	8	土木費	項	2	道路橋梁費	目	3	道路新設改良費	
事業名	市道下飯野線整備事業				担当課	建設課				
[単位：千円]	令和4年度（予算）		令和3年度（決算）		令和2年度（決算）		令和元年度（決算）			
コスト	合計	232,000		19,224		41,735		44,651		
	（人件費を除く） 内 訳	工事請負費	222,000		工事請負費	15,209		工事請負費	23,980	
		補償補填及び賠償金	9,000		委託料	4,015		公有財産購入費	9,036	
		委託料	1,000					委託料	4,214	
								補償補填及び賠償金	3,881	
							その他	624		
	人件費	合計	0.85 人		6,553		0.85 人		6,331	
		正職員	0.85 人		6,553		0.85 人		6,331	
		臨時職員等	人		0		人		0	
	総事業費	238,553		25,777		48,066		51,571		
財源	合計	232,000		19,224		41,735		44,651		
	国県支出金	115,500		7,605		17,532		21,706		
		国県支出金の内容		社会資本整備総合交付金（50%）						
	地方債	112,000		6,800		14,200		17,900		
	その他特財									
		その他特財の内容								
一般財源	4,500		4,819		10,003		5,045			
事業実績	活動実績	活動指標名（実績値/目標値）			単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度		
		用地取得			千円	—	9,036	—		
		道路改良工事			千円	15,209	23,980	42,225		
		物件補償			千円	—	3,881	—		
	単位当たりコスト	総事業費 /								
事業成果	成果目標	富津市の道路網を整備し、定住・観光・産業の振興を図るため、計画期間内での完成を成果目標とする。								
	成 果	成果指標名（実績値/目標値）			単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度		
		道路の完成			路線	0	0	0		
事業の自己評価	国の交付金の配分が計画通りになるように、関係機関や千葉県と連絡を密にして事業を推進する。									
比較参考値										
その他特記すべき事項										

複数年度用

R3決算用

事業番号	42 - 75 - 18 - 1	成果説明書・掲載事業	<input type="radio"/>
事業シート（概要説明書）			
科目	款 8 土木費	項 2 道路橋梁費	目 3 道路新設改良費
事業名	市道浅間山線整備事業		担当課 建設課
総合戦略施策名	基本目標	__3くらしやすく移住しやすい環境づくり__	担当係 建設係
	基本的な施策の方向	① くらしやすい環境を整える	施策番号 3 作成責任者 岩崎 太志
事務区分	自治事務 <input type="radio"/>	法定受託事務 <input type="checkbox"/>	事業開始年度 平成25年度
根拠法令等	道路法		
実施の背景	市道浅間山線は、一般国道465号と主要地方道久留里鹿野山湊線を結ぶバイパス路線であり、富津市有数の観光施設であるマザー牧場等への重要なアクセス道路である。		
目的	東関東自動車道館山線竹岡ICまでの4車線化に伴い、今後、更なる交通量の増加が見込まれることから円滑な交通を確保し、観光振興へ寄与する。		
対 象	市民		対象者数(全住民に対する割合)
			41,248 人 (100.0 %)
	直接実施	業務委託 <input type="radio"/>	一部委託 <input type="checkbox"/>
	委託先・指定管理者 入札による		
	指定管理		
実施方法	直接補助	間接補助	補助先
	実施主体		
	貸付	貸付先	
	その他	その他の内容	
事業内容（金額を含めた予算の執行内容）			
全体計画	計画期間	平成 25 年度 ~ 令和 5 年度	
事業概要	市道浅間山線道路改良事業 L=1,780m W=9.0m		
	●社会資本整備総合交付金（道路事業）		
	H26年度	路線測量・道路概略設計	
	H27年度	道路詳細設計・地質調査	
	H28年度	道路改良工事	
H29年度	道路改良工事		
H30年度	-		
H31（R1）年度	道路改良工事・用地測量		
R2年度	道路改良工事・用地取得		
R3年度	用地取得		
施行済	道路詳細設計・地質調査・用地測量・土地評価・不動産鑑定・物件調査・用地取得・物件補償・道路改良工事		
当該年度	●道路改良工事 23,595,000円 ●用地取得 10,582,173円 ●登記業務 3,587,529円 ●収入印紙 9,300 (上記中に42-77-18単独事業分 用地330,024円、登記3,587,529円、印紙9,300円含む)		
翌年度以降	道路改良工事・用地取得		
関連事業			

複数年度用

R3決算用

事業番号	42 - 75 - 18 - 1		成果説明書・掲載事業	○						
事業シート（概要説明書）										
科目	款	8	土木費	項	2	道路橋梁費	目	3	道路新設改良費	
事業名	市道浅間山線整備事業					担当課	建設課			
[単位：千円]	令和4年度（予算）		令和3年度（決算）		令和2年度（決算）		令和元年度（決算）			
コスト	合計		121,352		37,774		75,246		7,680	
	(人件費を除く) 内 訳	工事請負費	120,000		23,595		56,445		3,820	
		公有財産購入費	1,317		10,582		12,227		3,860	
		旅費	28		3,588		4,964			
		需用費	7		9		1,609			
						1				
	人件費	合計		0.60 人		4,625		0.60 人		4,469
		正職員	0.60 人		4,625		0.60 人		4,469	
		臨時職員等	人		0		人		0	
	総事業費		125,977		42,399		79,715		12,565	
財源	合計		121,352		37,774		75,246		7,680	
	国県支出金	60,000		16,923		35,214		3,840		
		国県支出金の内容		社会資本整備総合交付金（50%）						
	地方債	58,200		15,100		31,100		3,400		
	その他特財									
		その他特財の内容								
一般財源	3,152		5,751		8,932		440			
事業実績	活動指標名（実績値/目標値）			単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度			
	道路改良工事			千円	23,595	56,445	3,820			
	用地取得			千円	10,582	4,964	-			
	単位当たりコスト			総事業費	/					
事業成果	成果目標									
	成果指標名（実績値/目標値）			単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度			
	道路の完成			路線	0	0	0			
事業の自己評価	国の交付金の配分が計画通りになるように、関係機関や千葉県と連絡を密にして事業を推進する。									
比較参考値										
その他特記すべき事項										

複数年度用

R3決算用

事業番号	42 - 75 - 20 - 1	成果説明書・掲載事業		
事業シート（概要説明書）				
科目	款 8 土木費	項 2 道路橋梁費	目 3 道路新設改良費	
事業名	市道学校前線整備事業		担当課 建設課	
総合戦略施策名	基本目標		担当係 建設係	
	基本的な施策の方向	施策番号	作成責任者 岩崎 太志	
事務区分	自治事務 <input type="radio"/>	法定受託事務 <input type="radio"/>	事業開始年度 平成25年度	
根拠法令等	道路法			
実施の背景	本路線は金谷小学校の通学路であるとともに、金谷地区の避難路にもなっていることから、早急に整備し道路機能の強化を図る。			
目的	本路線は幅員が狭く車と人とのすれ違い時に事故が発生する恐れがあるため、改良工事を実施し安全かつ円滑な通行を図る。			
対 象	市民		対象者数(全住民に対する割合)	
			41,248 人 (100.0 %)	
	直接実施 <input type="radio"/>	業務委託 <input type="radio"/>	一部委託 <input type="radio"/>	指定管理 <input type="radio"/>
	委託先・指定管理者 入札による			
	直接補助 <input type="radio"/>	間接補助 <input type="radio"/>	補助先 <input type="radio"/>	実施主体 <input type="radio"/>
実施方法	貸付 <input type="radio"/>		貸付先 <input type="radio"/>	
	その他 <input type="radio"/>		その他の内容 <input type="radio"/>	
	事業内容（金額を含めた予算の執行内容）			
	全体計画	計画期間	平成 30 年度 ~ 令和 4 年度	
事業概要	市道学校前線道路整備事業 L=133m W=5.0m			
	L型擁壁工	L=32m		
	重力式擁壁工	L=73m		
	ボックスカルバート工	L=6m		
	舗装工	A=600m ²		
	側溝布設工	L=122m		
	集水ます工	N=1基		
	施行済			
	用地取得・道路改良工事			
	当該年度			
●市道学校前線道路改良工事 8,140,000円				
翌年度以降				
事業完了				
関連事業				

複数年度用

R3決算用

事業番号	42 - 75 - 20 - 1		成果説明書・掲載事業							
事業シート（概要説明書）										
科目	款	8	土木費	項	2	道路橋梁費	目	3	道路新設改良費	
事業名	市道学校前線整備事業						担当課	建設課		
[単位：千円]	令和4年度（予算）		令和3年度（決算）		令和2年度（決算）		令和元年度（決算）			
コスト	合計	0		8,140		9,020		0		
	内訳 (人件費を除く)			工事請負費	8,140	工事請負費	9,020			
	人件費	合計	0.30 人	2,313	0.30 人	2,313	0.20 人	1,490	0.20 人	1,628
		正職員	0.30 人	2,313	0.30 人	2,313	0.20 人	1,490	0.20 人	1,628
	臨時職員等	人	0	人	0	人	0	人	0	
	総事業費	2,313		10,453		10,510		1,628		
財源	合計	0		8,140		9,020		0		
	国県支出金			3,898		4,221				
		国県支出金の内容		社会資本整備総合交付金						
	地方債			3,500		3,700				
	その他特財									
その他特財の内容										
	一般財源	0		742		1,099		0		
事業実績	活動実績	活動指標名（実績値/目標値）			単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度		
		道路改良工事			千円	8,140	9,020	-		
	単位当たりコスト	総事業費 /								
事業成果	成果目標	国の交付金の配分が計画通りになるように、関係機関や千葉県と連絡を密にして事業を推進する。								
	成果	成果指標名（実績値/目標値）			単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度		
		道路の完成			路線	1	0	0		
事業の自己評価	国の交付金の配分が計画通りになるように、関係機関や千葉県と連絡を密にして事業完了することができた。									
比較参考値										
その他特記すべき事項										

複数年年度用

R3決算用

事業番号	42 - 80 - 10 - 1		成果説明書・掲載事業	○			
事業シート（概要説明書）							
科目	款	8	土木費	項	2		
					道路橋梁費		
				目	3		
					道路新設改良費		
事業名	市道小久保岩瀬線整備事業			担当課	建設課		
総合戦略施策名	基本目標	__3くらしやすく移住しやすい環境づくり__		担当係	建設係		
	基本的な施策の方向	①	くらしやすい環境を整える	施策番号	3		
	作成責任者	岩崎 太志					
事務区分	自治事務	○	法定受託事務				
				事業開始年度	平成25年度		
根拠法令等	道路法						
実施の背景	市道小久保岩瀬線は、市役所本庁舎及び大貫駅周辺地区を南北に連絡し一般国道465号と465号バイパス結ぶ重要な路線である。						
目的	当該箇所の幅員狭隘区間を解消することにより、市役所周辺へのアクセス性が高まり市役所本庁舎や消防防災センター等の公共施設を拠点とした整備効果を広域に及ぼし、また、防災安全の向上を図る。						
事業概要	対象	市民			対象者数(全住民に対する割合)	41,248 人 (100.0 %)	
	実施方法	直接実施		業務委託	○	一部委託	
						指定管理	
		委託先・指定管理者		入札による			
		直接補助		間接補助		補助先	
		貸付		貸付先			
	その他		その他の内容				
	事業内容（金額を含めた予算の執行内容）						
	全体計画	計画期間		平成 25 年度 ~ 令和 3 年度			
		市道小久保岩瀬線整備事業 L=590m W=14.5m ※H29年度から地方創生道整備推進交付金					
	H24年度	道路詳細設計・地質調査業務・用地測量					
	H25年度	土地評価・不動産鑑定・物件調査・用地取得・物件補償					
	H26年度	用地取得					
	H29年度	埋蔵文化財調査・道路改良工事					
	H30年度	道路改良工事					
	R元年度	道路改良工事					
	R2年度	道路改良工事					
	R3年度	道路改良工事					
	施行済	道路詳細設計・地質調査業務・用地測量・土地評価・不動産鑑定・物件調査・用地取得・物件補償					
	当該年度	<ul style="list-style-type: none"> ●市道小久保岩瀬線（道路改良、照明、舗装）工事 計44,342,500円 ●教会杭設置業務等 計9,790,000円 					
	翌年度以降						
関連事業							

複数年度用

R3決算用

事業番号	42 - 80 - 10 - 1		成果説明書・掲載事業	○						
事業シート（概要説明書）										
科目	款	8	土木費	項	2	道路橋梁費	目	3	道路新設改良費	
事業名	市道小久保岩瀬線整備事業				担当課	建設課				
[単位：千円]	令和4年度（予算）		令和3年度（決算）		令和2年度（決算）		令和元年度（決算）			
コスト	合計	0		54,133		130,096		55,092		
	内訳 (人件費を除く)			工事請負費	44,343	工事請負費	129,804	工事請負費	55,092	
				委託料	9,790	委託料	292			
	人件費	合計	0.00 人	0	0.30 人	2,313	0.30 人	2,235	0.50 人	4,071
		正職員	人	0	0.30 人	2,313	0.30 人	2,235	0.50 人	4,071
		臨時職員等	人	0	人	0	人	0	人	0
総事業費	0		56,446		132,331		59,163			
財源	合計	0		54,133		130,096		55,092		
	国県支出金					53,204		27,546		
	国県支出金の内容		社会資本整備総合交付金（50%）							
	地方債					47,700		24,700		
	その他特財									
その他特財の内容		繰越金								
一般財源	0		54,133		29,192		2,846			
事業実績	活動指標名（実績値/目標値）			単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度			
	道路改良工事			千円	44,343	129,804	55,092			
	業務委託			千円	9,790	292	-			
	単位当たりコスト			総事業費	/					
事業成果	成果目標	富津市の道路網を整備し、定住・観光・産業の振興を図るため、計画期間内での完成を成果目標とする。								
	成果指標名（実績値/目標値）			単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度			
	道路の完成			路線	1	0	0			
事業の自己評価	早期の供用開始を図るため、関係機関や千葉県と連絡を密にして事業を推進した。									
比較参考値										
その他特記すべき事項										

単年度用

R3決算用

事業番号	44 - 15 - 5 - 1	成果説明書・掲載事業		
事業シート（概要説明書）				
科目	款 8 土木費	項 3 河川費	目 1 河川総務費	
事業名	河川総務関係費		担当課 建設課	
総合戦略施策名	基本目標		担当係 管理補修係	
	基本的な施策の方向	施策番号	作成責任者 吉田晃洋	
事務区分	自治事務 <input type="radio"/>	法定受託事務 <input type="checkbox"/>	事業開始年度 昭和46年度	
根拠法令等	法定外負担金			
実施の背景	河川管理者として管理業務を遂行するための経費。			
目的	河川管理業務を円滑に遂行することを目的とする。			
事業概要	対象	市民	対象者数(全住民に対する割合) 41,248 人 (100.0 %)	
	実施方法	直接実施 <input type="radio"/>	業務委託 <input type="checkbox"/>	一部委託 <input type="checkbox"/>
		委託先・指定管理者		
		直接補助 <input type="checkbox"/>	間接補助 <input type="checkbox"/>	補助先 <input type="checkbox"/>
		貸付 <input type="checkbox"/>	貸付先 <input type="checkbox"/>	
その他 <input type="checkbox"/>	その他の内容 <input type="checkbox"/>			
事業内容（金額を含めた予算の執行内容）				
<ul style="list-style-type: none"> ●全国治水砂防協会千葉県支部負担金・・・168,000円 正会員費6,000円＋特別事業会費162,000円 ●千葉県河川協会負担金・・・35,000円 正会員費20,000円＋特別事業会費15,000円 				
関連事業				

単年度用

R3決算用

事業番号	44 - 15 - 5 - 1		成果説明書・掲載事業							
事業シート（概要説明書）										
科目	款	8 土木費		項	3 河川費		目	1 河川総務費		
事業名	河川総務関係費					担当課	建設課			
[単位：千円]	令和4年度（予算）		令和3年度（決算）		令和2年度（決算）		令和元年度（決算）			
コスト	合計	245		203		304		322		
	内訳 (人件費を除く)	負担金補助及び交付金	245		203		304		322	
	人件費	合計	0.28 人	2,158	0.28 人	2,158	0.28 人	2,086	0.30 人	1,605
		正職員	0.28 人	2,158	0.28 人	2,158	0.28 人	2,086	0.15 人	1,221
		臨時職員等	人	0	人	0	人	0	0.15 人	384
総事業費	2,403		2,361		2,390		1,927			
財源	合計	245		203		304		322		
	国県支出金									
		国県支出金の内容								
	地方債									
	その他特財									
	その他特財の内容									
一般財源	245		203		304		322			
事業実績	活動実績	活動指標名（実績値/目標値）			単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度		
		各団体通常総会			回	各1	各1	各1		
	単位当たりコスト	総事業費 /								
事業成果	成果目標	河川の適正な維持管理を行うものであり、成果指標を設定することは困難である。								
	成果	成果指標名（実績値/目標値）			単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度		
事業の自己評価	各協会会員との連絡を図り、治水等の情報の共有した。									
比較参考値										
その他特記すべき事項										

単年度用

R3決算用

事業番号	44 - 25 - 5 - 1	成果説明書・掲載事業		
事業シート（概要説明書）				
科目	款 8 土木費	項 3 河川費	目 2 河川維持費	
事業名	河川維持事業		担当課 建設課	
総合戦略施策名	基本目標		担当係 管理補修係	
	基本的な施策の方向	施策番号	作成責任者 吉田晃洋	
事務区分	自治事務 <input type="radio"/>	法定受託事務 <input type="radio"/>	事業開始年度 昭和46年度	
根拠法令等	河川法第100条、富津市準用河川管理規則、富津市公共用財産管理条例			
実施の背景	河川管理者として、河川が適正に利用され、流水の正常な機能を維持し、修繕し、河川の氾濫や増水による被害が生じないように努めなければならない。			
目的	準用河川その他市が管理する河川（水路）の正常な流水を確保するため維持・修繕を行う。			
事業概要	対象	市民	対象者数(全住民に対する割合) 41,248 人 (100.0 %)	
	実施方法	直接実施 <input type="radio"/>	業務委託 <input type="radio"/>	一部委託 <input type="radio"/>
		委託先・指定管理者		
		直接補助	間接補助	補助先
		貸付	貸付先	実施主体
	その他	その他の内容		
事業内容（金額を含めた予算の執行内容）				
<ul style="list-style-type: none"> ●修繕料 <ul style="list-style-type: none"> 普通河川矢五川土砂撤去修繕工事 946,000円 ●河川維持委託料 <ul style="list-style-type: none"> 普通河川青梅川樹木等伐採業務委託 484,000円 ●重機借上料 <ul style="list-style-type: none"> 飛清川倒木撤去に伴う重機借上 515,680円 太郎様川倒木撤去に伴う重機借上 475,640円 				
関連事業				

単年度用

R3決算用

事業番号	44 - 25 - 5 - 1		成果説明書・掲載事業							
事業シート（概要説明書）										
科目	款	8	土木費	項	3	河川費	目	2	河川維持費	
事業名	河川維持事業					担当課	建設課			
[単位：千円]	令和4年度（予算）		令和3年度（決算）		令和2年度（決算）		令和元年度（決算）			
コスト	合計	2,500		2,421		731		1,075		
	（人件費を除く） 内 訳	需用費	1,000	需用費	946	委託料	434	工事請負費	899	
		委託料	500	委託料	484	使用料及び賃借料	203	使用料及び賃借料	102	
		使用料及び賃借料	1,000	使用料及び賃借料	991	原材料費	94	委託料	74	
	人件費	合計	1.18 人	5,620	1.18 人	5,620	1.18 人	5,621	0.40 人	2,698
		正職員	0.58 人	4,471	0.58 人	4,471	0.58 人	4,320	0.30 人	2,442
		臨時職員等	0.60 人	1,149	0.60 人	1,149	0.60 人	1,301	0.10 人	256
	総事業費	8,120		8,041		6,352		3,773		
	財源	合計	2,500		2,421		731		1,075	
	国県支出金									
	国県支出金の内容									
	地方債									
	その他特財									
	その他特財の内容									
	一般財源	2,500		2,421		731		1,075		
事業実績	活動実績	活動指標名（実績値/目標値）			単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度		
		河川維持管理工事等実施箇所			箇所	4	3	2		
	単位当たりコスト	総事業費	/	実施箇所		2,010	2,117	1,887		
事業成果	成果目標	河川を適正に維持管理し、流水の正常な機能を維持する。なお、河川の維持管理状況・流水機能の確保状況を表す統計値等がなく、成果指標を設定することは困難である。								
	成 果	成果指標名（実績値/目標値）			単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度		
事業の自己評価	緊急度・影響度を勘案し優先順位を考慮しながら、限られた予算の中で、安全・安心な河川機能の維持に努める。									
比較参考値										
その他特記すべき事項										

単年度用

R3決算用

事業番号	46 - 15 - 5 - 1	成果説明書・掲載事業	<input type="radio"/>	
事業シート（概要説明書）				
科目	款 8 土木費	項 4 港湾費	目 1 港湾管理費	
事業名	港湾管理総務関係費		担当課 建設課	
総合戦略施策名	基本目標		担当係 管理補修係	
	基本的な施策の方向	施策番号	作成責任者 吉田晃洋	
事務区分	自治事務 <input type="radio"/>	法定受託事務 <input type="checkbox"/>	事業開始年度	
根拠法令等	法定外負担金			
実施の背景	港湾管理業務を遂行するための経費。			
目的	港湾管理業務を円滑に遂行することを目的とする。			
事業概要	対象	市民	対象者数(全住民に対する割合) 41,248 人 (100.0 %)	
	実施方法	直接実施 <input type="radio"/>	業務委託 <input type="checkbox"/>	一部委託 <input type="checkbox"/>
		委託先・指定管理者		
		直接補助 <input type="checkbox"/>	間接補助 <input type="checkbox"/>	補助先
		貸付 <input type="checkbox"/>	貸付先	
その他 <input type="checkbox"/>	その他の内容			
事業内容（金額を含めた予算の執行内容）				
<ul style="list-style-type: none"> ●千葉県港湾協会負担金・・・5,000円 普通会員 5,000円 ●木更津港湾愛護協会負担金・・・1,887,000円 令和元年度特別とん譲与税94,357,372円の2% ●海上保安協会負担金・・・100,000円 ●浜金谷港美港会負担金・・・50,000円 ●港湾整備事業負担金……………2,272,020円 交付金事業負担金 843,750円 県単港湾整備事業負担金 1,428,270円 				
関連事業				

単年度用

R3決算用

事業番号	46 - 15 - 5 - 1			成果説明書・掲載事業	○					
事業シート（概要説明書）										
科目	款	8	土木費	項	4	港湾費	目	1	港湾管理費	
事業名	港湾管理総務関係費				担当課	建設課				
[単位：千円]	令和4年度（予算）		令和3年度（決算）		令和2年度（決算）		令和元年度（決算）			
コスト	合計	9,487		4,314		1,875		2,887		
	内訳 (人件費を除く)	負担金補助及び交付金	9,487		4,314		1,875		2,887	
	人件費	合計	0.21 人	1,619	0.21 人	1,619	0.21 人	1,564	0.10 人	814
		正職員	0.21 人	1,619	0.21 人	1,619	0.21 人	1,564	0.10 人	814
		臨時職員等	人	0	人	0	人	0	人	0
総事業費	11,106		5,933		3,439		3,701			
財源	合計	9,487		4,314		1,875		2,887		
	国県支出金									
		国県支出金の内容								
	地方債									
	その他特財									
	その他特財の内容									
一般財源	9,487		4,314		1,875		2,887			
事業実績	活動実績	活動指標名（実績値/目標値）			単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度		
		各団体通常総会			回	各1	各1	各1		
	単位当たりコスト	総事業費 /								
事業成果	成果目標	港湾管理業務を行うものであり、成果指標を設定することは困難である。								
	成果	成果指標名（実績値/目標値）			単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度		
事業の自己評価	各協会会員との連絡を図り、情報を共有した。									
比較参考値										
その他特記すべき事項										

単年度用

R3決算用

事業番号	64 - 10 - 10 - 1	成果説明書・掲載事業	<input type="radio"/>	
事業シート（概要説明書）				
科目	款 11 災害復旧費	項 1 公共土木施設災害復旧	目 1 道路橋梁災害復旧費	
事業名	現年発生公共土木施設災害復旧事業（補助事業）		担当課 建設課	
総合戦略施策名	基本目標		担当係 建設係	
	基本的な施策の方向	施策番号	作成責任者 岩崎 太志	
事務区分	自治事務 <input type="radio"/>	法定受託事務 <input type="radio"/>	事業開始年度	
根拠法令等	公共土木施設災害復旧事業費国庫負担法			
実施の背景	暴風、こう水、高潮、地震その他の異常な天然現象に困り生ずる災害の速やかな復旧を図り、もって公共の福祉を確保する。			
目的	災害により必要を生じた事業で、被災施設を原形に復旧する。			
事業概要	対象	市民	対象者数(全住民に対する割合) 41,248 人 (100.0 %)	
	実施方法	直接実施 <input type="radio"/>	業務委託 <input type="radio"/>	一部委託 <input type="radio"/>
		委託先・指定管理者 見積・入札による		
		直接補助	間接補助	補助先
		貸付	貸付先	実施主体
その他	その他の内容			
事業内容（金額を含めた予算の執行内容）				
●道路災害復旧工事（3年災道第16号） 宝竜寺地先 1,980,000円				
関連事業				

単年度用

R3決算用

事業番号	64 - 10 - 10 - 1	成果説明書・掲載事業	○	
事業シート（概要説明書）				
科目	款 11 災害復旧費	項 1 公共土木施設災害復旧	目 1 道路橋梁災害復旧費	
事業名	現年発生公共土木施設災害復旧事業（補助事業）		担当課 建設課	
[単位：千円]	令和4年度（予算）	令和3年度（決算）	令和2年度（決算） 平成元年度（決算）	
コスト	合計	0	1,980 96,917 29,918	
	内訳 (人件費を除く)	工事請負費	1,980 96,917 29,918	
	人件費	合計	0.00 人 0	0.20 人 1,542 0.20 人 1,490 0.80 人 6,513
		正職員	人 0	0.20 人 1,542 0.20 人 1,490 0.80 人 6,513
臨時職員等		人 0	人 0 人 0 人 0	
総事業費	0	3,522	98,407 36,431	
財源	合計	0	1,980 96,917 29,918	
	国県支出金		1,320 63,407 19,995	
		国県支出金の内容	現年発生公共土木施設災害復旧事業負担金（国2/3）	
	地方債	600	30,749 9,600	
	その他特財			
一般財源	0	60	2,761 323	
事業実績	活動指標名（実績値/目標値）		単位 令和3年度 令和2年度 平成元年度	
	道路災害復旧工事		件 1 20 4	
	単位当たりコスト 総事業費 /			
事業成果	成果目標	異常気象による公共土木施設の災害復旧事業を実施し、市民の通常生活を復活させる。		
	成果	成果指標名（実績値/目標値）	単位 令和3年度 令和2年度 平成元年度	
		工事の完成	箇所 1 20 4	
事業の自己評価	異常気象による公共土木施設の災害復旧を遅滞なく実施し完成した。今後も災害復旧事業を速やかに実施する。			
比較参考値				
その他特記すべき事項				

単年度用

R3決算用

事業番号	64 - 10 - 20 - 1	成果説明書・掲載事業	○	
事業シート（概要説明書）				
科目	款 11 災害復旧費	項 1 公共土木施設災害復旧	目 1 道路橋梁災害復旧費	
事業名	現年発生公共土木施設災害復旧事業（単独事業）		担当課 建設課	
総合戦略施策名	基本目標		担当係 建設係	
	基本的な施策の方向	施策番号	作成責任者 岩崎 太志	
事務区分	自治事務 ○	法定受託事務	事業開始年度	
根拠法令等	道路法第16条、第42条			
実施の背景	道路管理者として、道路を常時良好な状態に保つように維持し、修繕し、一般交通に支障を及ぼさないように努めなければならない。 緊急を要し、かつ国の災害認定の対象とならない災害箇所を復旧する。			
目的	主に豪雨等による土砂の崩落により、通行不能となった道路を復旧し、速やかに道路の安全な通行を確保するための復旧を行う。			
事業概要	対象	市民	対象者数(全住民に対する割合) 41,248 人 (100.0 %)	
	実施方法	直接実施 ○	業務委託 ○	一部委託
		委託先・指定管理者 見積・入札による		
		直接補助	間接補助	補助先 実施主体
		貸付	貸付先	
その他	その他の内容			
事業内容（金額を含めた予算の執行内容）				
<ul style="list-style-type: none"> ●災害復旧工事 8,041,000円 <ul style="list-style-type: none"> ・市道中通線道路災害復旧工事 八幡地先 2,706,000円 ・市道中通線道路災害復旧工事伴う附帯工事 八幡地先 1,045,000円 ・市道石塚本線道路災害復旧工事 志駒地先 2,200,000円 ・市道道路災害復旧工事 梨沢地先他 935,000円 ・市道恩田谷線道路災害復旧工事 恩田地先 1,155,000円 ●重機借上料 6,815,160円 ●業務委託料 452,100円 <ul style="list-style-type: none"> ・市道染川線災害復旧事業測量業務委託 宝竜寺地先 264,000円 ・市道中通線道路災害復旧事業測量業務委託 八幡地先 188,100円 ●消耗品費 544,500円 				
関連事業				

単年度用

R3決算用

事業番号	64 - 10 - 20 - 1		成果説明書・掲載事業	○						
事業シート（概要説明書）										
科目	款	11	災害復旧費	項	1	公共土木施設災害復旧	目	1	道路橋梁災害復旧費	
事業名	現年発生公共土木施設災害復旧事業（単独事業）				担当課	建設課				
[単位：千円]	令和4年度（予算）		令和3年度（決算）		令和2年度（決算）		平成元年度（決算）			
コスト	合計		1,000		15,853		18,734		11,068	
	（人件費を除く） 内 訳	工事請負費	1,000		工事請負費	8,041		工事請負費	17,904	
					使用料及び賃借料	6,815		物件補償費	830	
					需用費	545				
					委託料	452				
	人件費	合計	0.00 人		0		0.20 人		1,542	
		正職員	人		0		0.20 人		1,542	
		臨時職員等	人		0		0.60 人		1,301	
	総事業費	1,000		17,395		25,100		13,766		
	財源	合計		1,000		15,853		18,734		11,068
国県支出金		国県支出金の内容								
地方債				4,600		5,200				
その他特財		その他特財の内容								
一般財源		1,000		11,253		13,534		11,068		
事業実績	活動指標名（実績値/目標値）				単位	令和3年度	令和2年度	平成元年度		
	道路・橋梁災害復旧箇所				件	5	11	3		
	単位当たりコスト				総事業費	/				
事業成果	成果目標									
	異常気象による公共土木施設の災害復旧事業を実施し、市民の通常生活を復活させる。									
	成果指標名（実績値/目標値）				単位	令和3年度	令和2年度	平成元年度		
工事の完成				箇所	5	11	3			
事業の自己評価		異常気象による公共土木施設の災害復旧を遅滞なく実施し完成した。今後も災害復旧事業を速やかに実施する。								
比較参考値										
その他特記すべき事項										

単年度用

R3決算用

事業番号	64 - 20 - 10 - 1	成果説明書・掲載事業	<input type="radio"/>	
事業シート（概要説明書）				
科目	款 11 災害復旧費	項 1 公共土木施設災害復旧	目 2 河川災害復旧費	
事業名	現年発生公共土木施設災害復旧事業（補助事業）		担当課 建設課	
総合戦略施策名	基本目標		担当係 建設係	
	基本的な施策の方向	施策番号	作成責任者 岩崎 太志	
事務区分	自治事務 <input type="radio"/>	法定受託事務 <input type="radio"/>	事業開始年度	
根拠法令等	公共土木施設災害復旧事業費国庫負担法			
実施の背景	暴風、こう水、高潮、地震その他の異常な天然現象に困り生ずる災害の速やかな復旧を図り、もって公共の福祉を確保する。			
目的	災害に困って必要を生じた事業で、災害にかかった施設を原形に復旧する。			
事業概要	対象	市民	対象者数(全住民に対する割合) 41,248 人 (100.0 %)	
	実施方法	直接実施 <input type="radio"/>	業務委託 <input type="radio"/>	一部委託 <input type="radio"/>
		委託先・指定管理者	見積・入札による	
		直接補助 <input type="radio"/>	間接補助 <input type="radio"/>	補助先 <input type="radio"/>
		貸付 <input type="radio"/>	貸付先 <input type="radio"/>	実施主体 <input type="radio"/>
	その他 <input type="radio"/>	その他の内容 <input type="radio"/>		
事業内容（金額を含めた予算の執行内容）				
●河川災害復旧工事（3年災河第9号） 二間塚地先 17,600,000円				
関連事業				

単年度用

R3決算用

事業番号	64 - 20 - 10 - 1	成果説明書・掲載事業	○	
事業シート（概要説明書）				
科目	款 11 災害復旧費	項 1 公共土木施設災害復旧	目 2 河川災害復旧費	
事業名	現年発生公共土木施設災害復旧事業（補助事業）		担当課 建設課	
[単位：千円]	令和4年度（予算）	令和3年度（決算）	令和2年度（決算） 平成元年度（決算）	
コスト	合計	0	17,600 8,861 13,590	
	内訳 (人件費を除く)	工事請負費	17,600 8,861 13,590	
	人件費	合計	0.00 人 0	0.20 人 1,542 0.20 人 1,490 0.20 人 1,628
		正職員	人 0	0.20 人 1,542 0.20 人 1,490 0.20 人 1,628
臨時職員等		人 0	人 0 人 0 人 0	
総事業費	0	19,142	10,351 15,218	
財源	合計	0	17,600 8,861 13,590	
	国県支出金		11,739 5,910 9,064	
		国県支出金の内容	現年発生公共土木施設災害復旧事業負担金（国2/3）	
	地方債		5,700 2,951 4,400	
	その他特財			
一般財源	0	161	0 126	
事業実績	活動指標名（実績値/目標値）		単位 令和3年度 令和2年度 平成元年度	
	河川災害復旧工事		件 1 1 1	
	単位当たりコスト		総事業費 /	
事業成果	成果目標	異常気象による公共土木施設の災害復旧事業を実施し、市民の通常生活を復活させる。		
	成果	成果指標名（実績値/目標値）	単位 令和3年度 令和2年度 平成元年度	
		工事の完成	箇所 1 1 1	
事業の自己評価	異常気象による公共土木施設の災害復旧を遅滞なく実施し完成した。今後も災害復旧事業を速やかに実施する。			
比較参考値				
その他特記すべき事項				

単年度用

R3決算用

事業番号	64 - 20 - 20 - 1	成果説明書・掲載事業	○	
事業シート（概要説明書）				
科目	款 11 災害復旧費	項 1 公共土木施設災害復旧	目 2 河川災害復旧費	
事業名	現年発生公共土木施設災害復旧事業（単独事業）		担当課 建設課	
総合戦略施策名	基本目標		担当係 管理補修係	
	基本的な施策の方向	施策番号	作成責任者 吉田晃洋	
事務区分	自治事務 ○	法定受託事務	事業開始年度	
根拠法令等	河川法第100条、富津市準用河川管理規則、富津市公共用財産管理条例			
実施の背景	河川管理者として、河川が適正に利用され、流水の正常な機能を維持し、修繕し、河川の氾濫や増水による被害が生じないように努めなければならない。 緊急かつ国の災害認定の対象とならない災害箇所を復旧する。			
目的	主に豪雨による護岸の崩落などを復旧し、速やかに正常な流水の確保を図るため復旧を行う。			
事業概要	対象	市民	対象者数(全住民に対する割合) 41,248 人 (100.0 %)	
	実施方法	直接実施 ○	業務委託 ○	一部委託
		委託先・指定管理者 市内業者		指定管理
		直接補助	間接補助	補助先
		貸付	貸付先	実施主体
その他	その他の内容			
事業内容（金額を含めた予算の執行内容）				
●委託料			28,628,600円	
・準用河川百目木川河川災害復旧工事測量業務委託			561,000円	
・普通河川相川流木撤去業務委託			28,067,600円	
●重機借上料			6,249,100円	
●工事請負費			11,044,000円	
・道路災害復旧工事（3年災道第16号）に伴う附帯工事			6,820,000円	
・河川災害復旧工事（3年災河第9号）に伴う附帯工事			286,000円	
・準用河川古船川災害復旧工事			1,078,000円	
・普通河川山入川河川災害復旧工事（繰越明許費分）			2,860,000円	
関連事業				

単年度用

R3決算用

事業番号	64 - 20 - 20 - 1		成果説明書・掲載事業	○						
事業シート（概要説明書）										
科目	款	11	災害復旧費	項	1	公共土木施設災害復旧	目	2	河川災害復旧費	
事業名	現年発生公共土木施設災害復旧事業（単独事業）				担当課	建設課				
[単位：千円]	令和4年度（予算）		令和3年度（決算）		令和2年度（決算）		平成元年度（決算）			
コスト	合計		1,000		45,922		1,287		2,039	
	（人件費を除く） 内 訳	工事請負費	1,000		委託料	28,629		工事請負費	1,287	
					工事請負費	11,044			使用料及び賃借料	378
					使用料及び賃借料	6,249			需用費	97
	人件費	合計		1.28 人		6,391		1.28 人		6,366
		正職員	0.68 人		5,242		0.68 人		5,065	
		臨時職員等	0.60 人		1,149		0.60 人		1,301	
	総事業費		7,391		52,313		7,653		4,737	
	財源	合計		1,000		45,922		1,287		2,039
国県支出金										
国県支出金の内容										
地方債				18,500						
その他特財										
その他特財の内容										
一般財源		1,000		27,422		1,287		2,039		
事業実績	活動指標名（実績値/目標値）				単位	令和3年度	令和2年度	平成元年度		
	河川災害復旧箇所				件	4	1	0		
	単位当たりコスト				総事業費	/				
事業成果	成果目標				災害により被災した河川の機能回復を行うものであり、成果指標を設定することは困難である。					
	成果指標名（実績値/目標値）				単位	令和3年度	令和2年度	平成元年度		
	成 果									
事業の自己評価		豪雨や台風等の自然災害により発生する災害であり、市民（利用者）の安全・安心を直ちに確保すべく、対応しているが、災害の規模によっては対応に限界が生じる。								
比較参考値										
その他特記すべき事項										